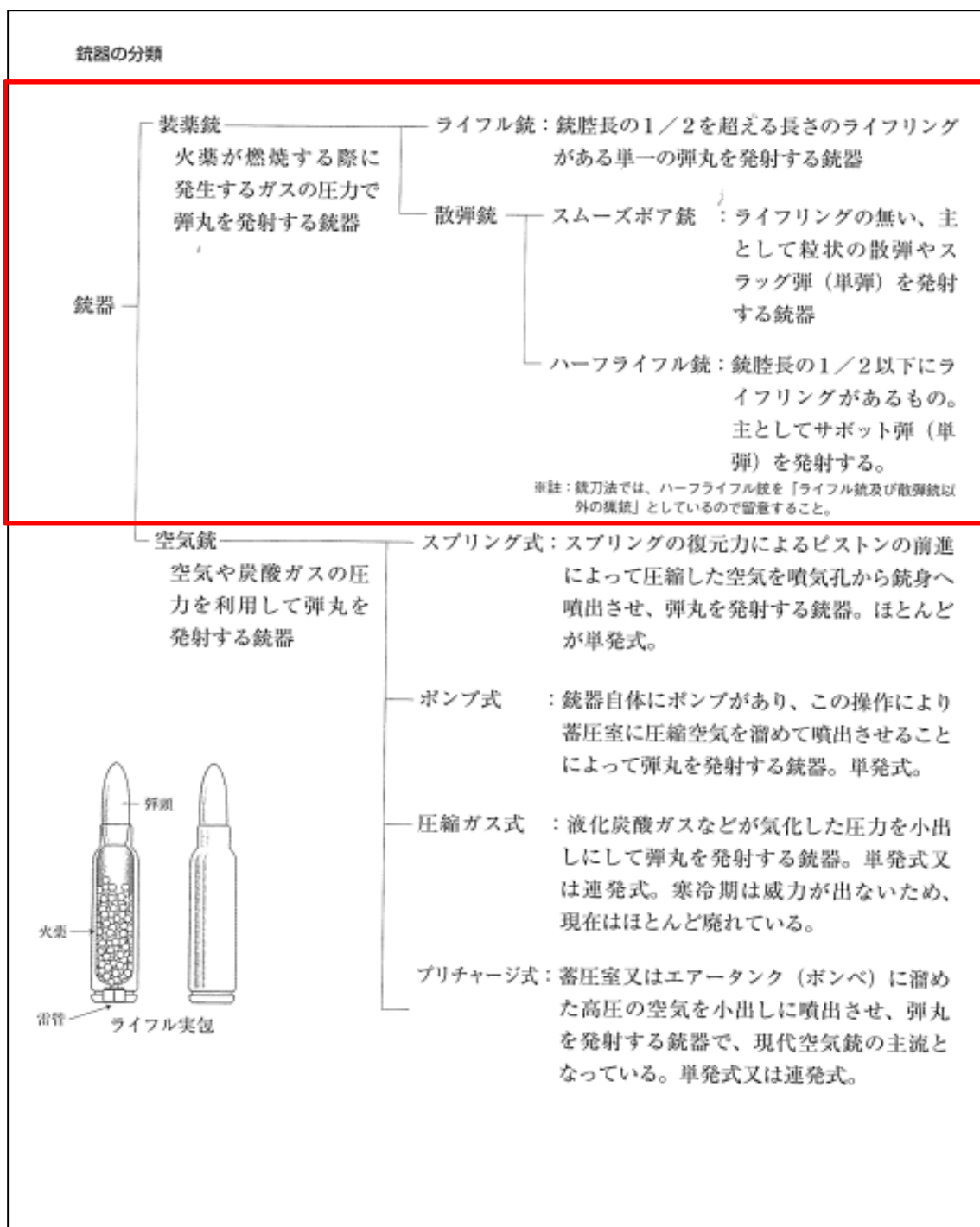


1 銃器について

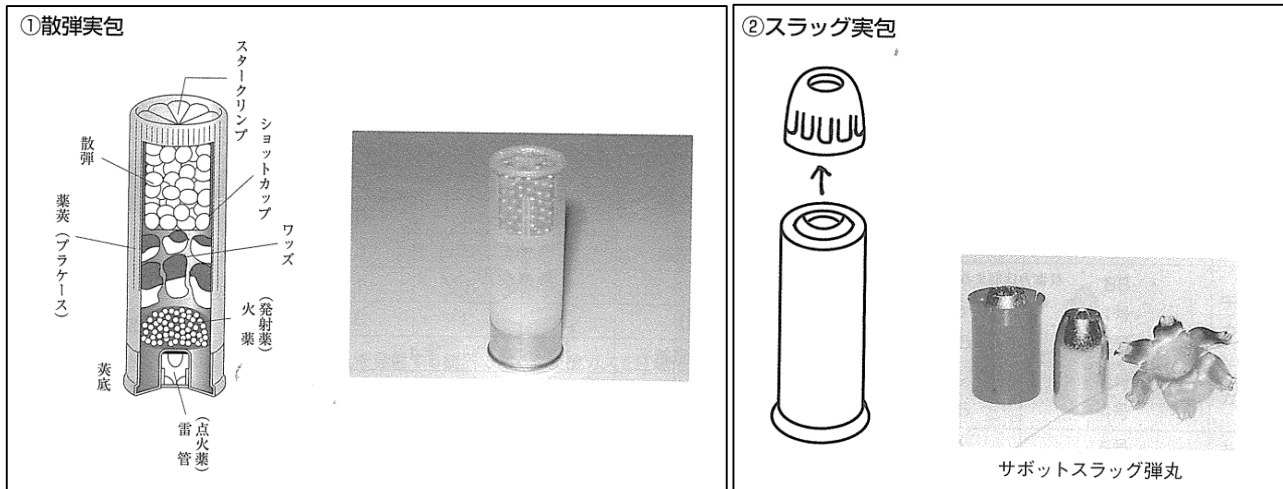
銃器は大きく「装薬銃」と「空気銃」に分類できる。このうち、装薬銃は火薬が燃焼する際に発生するガスの圧力で弾丸を発射する銃器の総称であり、散弾銃とライフル銃に大別できる。



大日本猟友会発行狩猟読本より抜粋

*ハーフライフル銃は銃刀法の改正によりライフル銃と同等の扱いになる予定

散弾実包には粒状の散弾を使用した実包、スラッグ実包（スラッグ弾は、散弾銃で発射できる単体の弾丸）等がある。



弾丸の適用と最大到達距離等

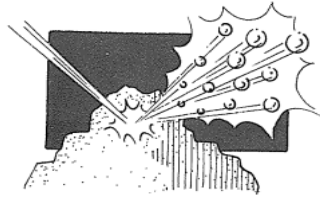
弾丸の種類	J I S の呼 び 方 (mm)	通 称	弾丸の適用鳥獣	最大有効射程 (m)	最大到達距離 (m)
散 弾 (鉛製)	—	ス ラ ッ グ (12 番)	クマ・イノ シシ・シカ	100	700
	8.6		イノシシ・ シカ	50	515
ライフル 弾	30 カービン (ホーワ 300)		シカ	100	2,200
	308 ウィンチェスターや 30-06 のライフル		クマ・イノ シシ・シカ	300	3,200 ~ 4,000

(注)

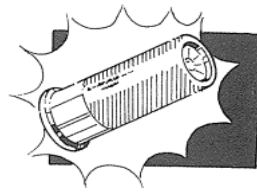
①本表の最大到達距離の数字は、実射実験値を無風で標準大気状態の時の場合に修正したものである。従って、強い追い風等の条件によっては、これを超えることがあることから、実用上は、上表の数字に2割程度の余裕をみておくのがよい。

②サボットスラッグ弾については、本表のスラッグデータより、1.5～2倍程度割増しして考える必要がある。

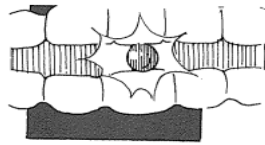
鉄製散弾の使用上の注意



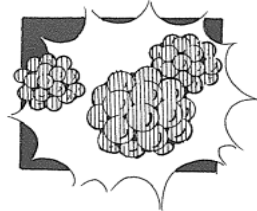
鉄系散弾は鉛弾に比べ、反発力が高いので、跳弾や跳ね返りの危険も大きくなります。硬い岩石や地面、竹林、氷や水面等への発砲は絶対避けるなど、細心の注意が必要です。



鉄系散弾は特別な火薬、薬莢、カップワッドが使われています。異常腔圧等による銃の損傷や人身事故の原因になる恐れがあるので、装弾の改造、リローディングは絶対してはなりません。



鉄系散弾は硬いので噛むと歯を痛める恐れがあります。獲物を調理したり食べるときは、充分注意することが必要です。



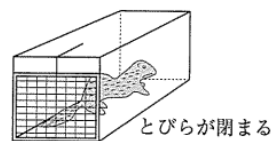
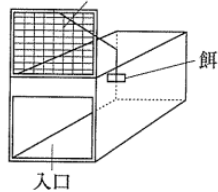
軟鉄散弾（ソフトスチール弾）は表面メッキの防錆加工をしていますが、水分が付着したまま長期保管をすると錆びて団塊状になり、使用上危険です。吸湿品や保管の場所と期間等に十分注意してください。

（日本猟用資材工業会資料より抜粋）

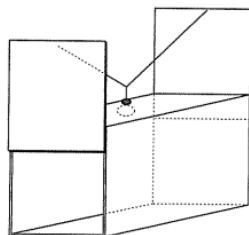
2 はこわなについて

「はこわな」とは、箱のなかに獣が入り混んで餌をくわえて引いたりすると、出入り口が半自動的に閉まることにより、獣を閉じ込めて捕獲するわなのことである。

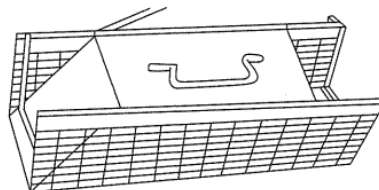
1) 片開き型
落とし蓋



2) 両開き型①



3) 両開き型②



大日本猟友会発行狩猟読本より抜粋

3 麻醉銃について

麻醉銃には、火薬式とガス式があり、ガス式が用いられることが多い。大きくピストル型とライフル型に分けられ、ピストル型は小型・軽量であるが射程距離は数メートルから数十メートルに限られる。一方、ライフル型は射程距離が長く威力があり、重心にらせん状の刻み（ライフレリング）が入っている者は、より長い射程となり、巢子法等を用いることで高い精度を実現することが可能。



麻醉銃の種類

麻醉銃は、投薬器（ダート）を飛ばし、個体に薬液を注入する。麻醉銃に用いる投薬器の要領は様々であるが、容量が大きいほど必要とする力は大きくなり命中精度も下がる。投薬器は、後室に空気圧をためて、その圧力で薬液を放出スル仕組みとなっている。



針には側面に穴が開いており、命中した際、投薬器の先端の針部分のみが個体の体に刺さり、針部分のゴム栓がスライドすることで針側面の穴から薬液が体内に注入される。

「住居集合地域等における麻醉銃の取扱いについて」のパンフレットより抜粋